

つながる力を、創り出す力に。



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2026年2月12日

目次

1. 2026年3月期 第3四半期決算	2
2. 2026年3月期 業績予想・配当予想	20
3. トピックス	24

2026年3月期 第3四半期決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
青木あすなろ建設			国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松都市開発	東京・大阪
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2026年3月期 第3四半期 業績推移

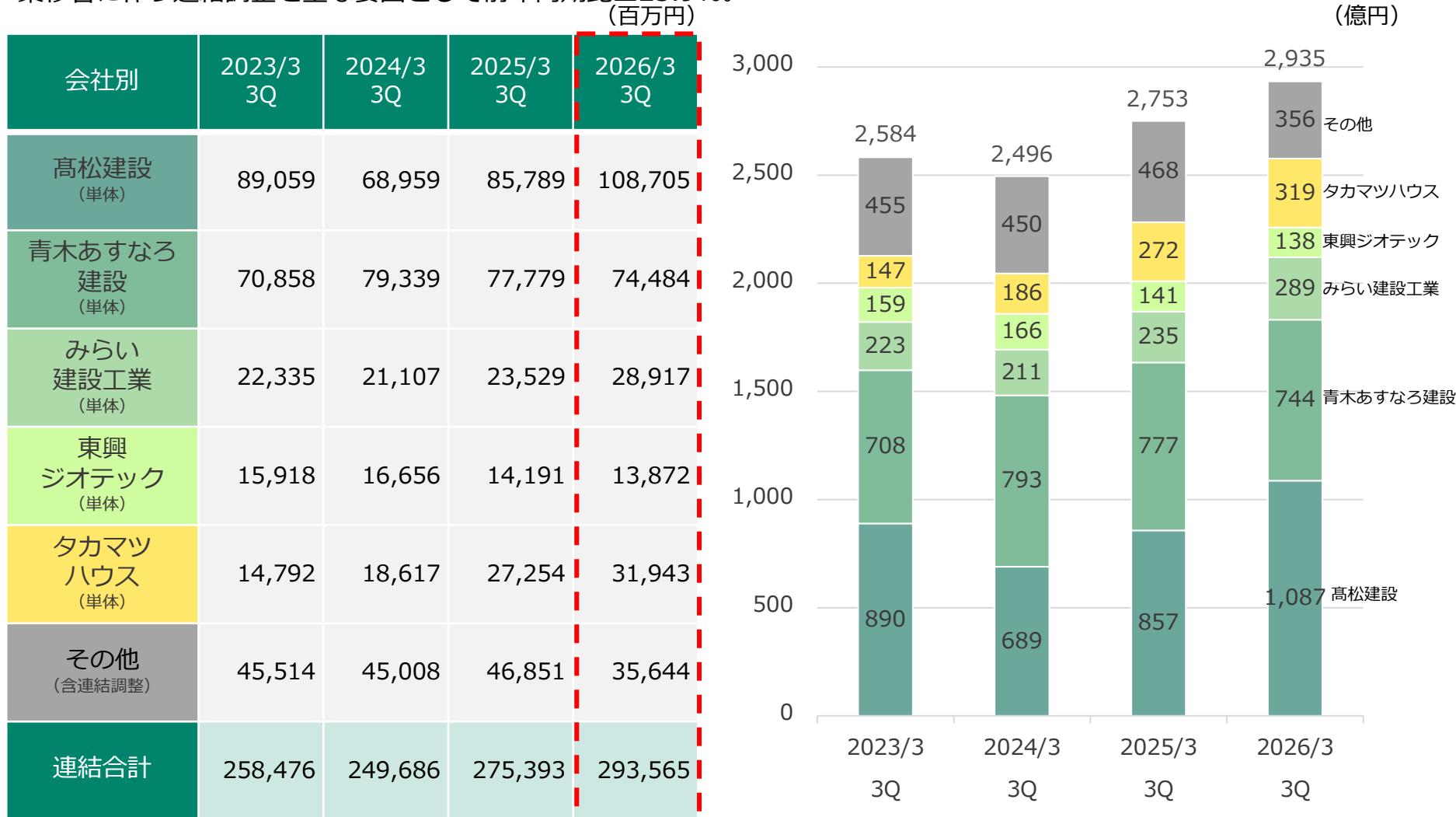
◆全ての項目で前年同期比増となり、四半期純利益は71億円と大幅に増加。

(億円)

項目	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	増減率
受注高	2,584	2,496	2,753	2,935	+6.6%
売上高	2,036	2,237	2,477	2,623	+5.9%
売上総利益	290	301	311	396	+27.0%
売上総利益率	14.3%	13.5%	12.6%	15.1%	+2.5pt
営業利益	68	65	68	119	+75.3%
営業利益率	3.4%	2.9%	2.8%	4.6%	+1.8pt
経常利益	70	64	63	118	+86.1%
経常利益率	3.5%	2.9%	2.6%	4.5%	+1.9pt
親会社株主帰属 四半期純利益	40	35	31	71	+124.4%
四半期純利益率	2.0%	1.6%	1.3%	2.7%	+1.4pt

中核事業会社別 受注高

- ◆ 高松建設は前年同期比+26.7%と大幅増（詳細次ページ）。青木あすなろ建設は前年同期比△4.2%。みらい建設工業は大型案件を複数受注し前年同期比+22.9%と増加。東興ジオテックは前年同期比△2.3%。タカマツハウスは販売好調で前年同期比+17.2%。その他中核5社以外のグループ会社は第2四半期に発生した高松建設から高松都市開発への分譲事業移管に伴う連結調整を主な要因として前年同期比△23.9%。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

高松建設 セグメント別受注高

- ◆ 共同住宅は、大阪で前年同期比約86億円、東京で前年同期比約44億円増加し、高松建設全体で前年同期比約130億円増加した。なお、本受注高には第2四半期に計上した高松建設から高松都市開発への分譲事業移管に伴う分譲住宅のグループ間受発注が計約200億円（第2四半期で大阪約69億円、東京約131億円）含まれる。グループ会社間取引となるため、グループ連結合計受注高は連結調整による消去がなされている。
- ◆ 一般建築は、大阪で前年同期比約14億円減少したものの、東京で前年同期比約103億円増加し、高松建設全体では約88億円の増加となった。
- ◆ 不動産は前年同期比約10億円の増加。

セグメント別 受注高 (百万円)

		大阪				東京			
		2025/3 3Q	構成比	2026/3 3Q	構成比	2025/3 3Q	構成比	2026/3 3Q	構成比
建築	共同住宅	10,000	29.5%	18,608	44.8%	30,592	58.9%	35,035	52.2%
	一般建築	21,759	64.2%	20,261	48.8%	20,004	38.5%	30,306	45.1%
不動産		2,118	6.3%	2,677	6.4%	1,316	2.5%	1,820	2.7%
合計		33,877	100%	41,545	100%	51,912	100%	67,160	100%

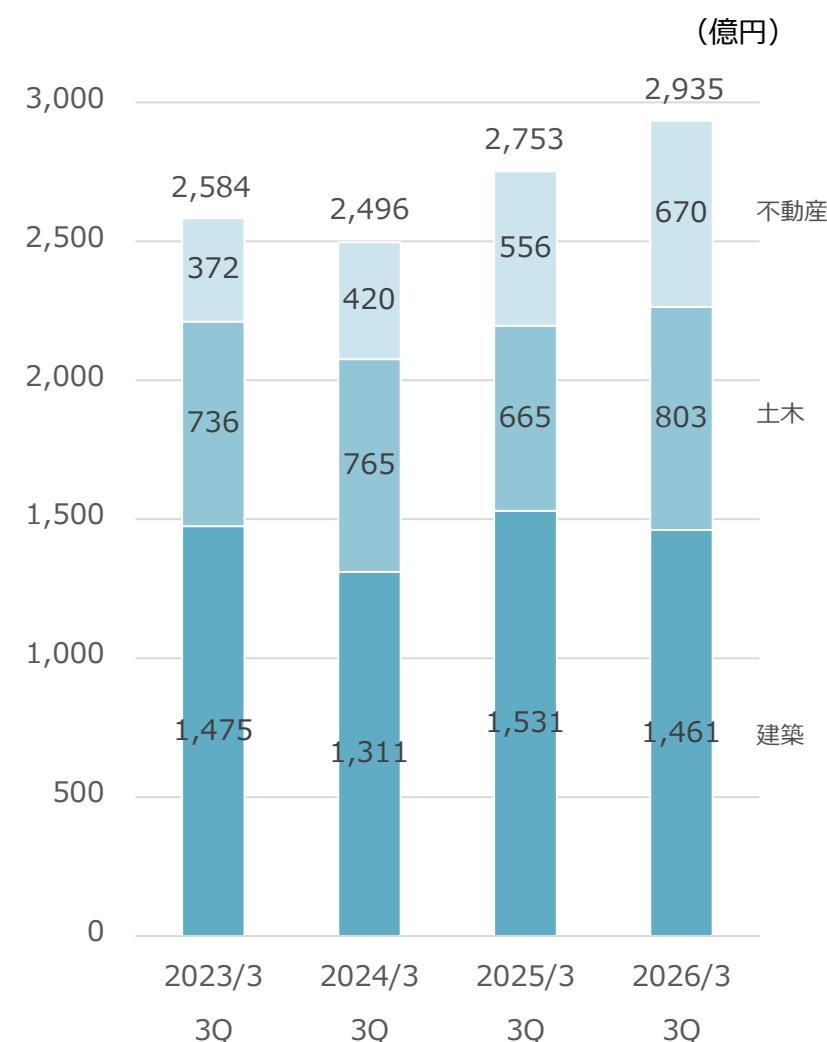
※数値はグループ会社間取引を含む。

※構成比は小数点以下第二位四捨五入

セグメント別 受注高

◆ 建築は前年同期比△4.6%。土木は青木あすなろ建設、みらい建設工業、島田組で増加し前年同期比+20.7%と大幅増。不動産は主にタカマツハウス、高松エステートで増加し、前年同期比+20.5%と大幅増。

セグメント別	(百万円)			
	2023/3 3Q	2024/3 3Q	2025/3 3Q	2026/3 3Q
建築	147,565	131,159	153,119	146,102
土木	73,611	76,522	66,592	80,390
不動産	37,299	42,004	55,682	67,072
連結合計	258,476	249,686	275,393	293,565



中核事業会社別 次期繰越し

- ◆ 高松建設は受注高・売上高ともに大幅に増加し前年同期比+12.9%。青木あすなろ建設は建築で増加し全体で前年同期比+10.4%。みらい建設工業は受注高の増加および売上高の減少により前年同期比+38.5%と大幅増。東興ジオテックは前年同期比+0.1%。タカマツハウスは受注高・売上高ともに大幅に増加し前年同期比+12.8%。「その他（含連結調整）」は、第2四半期での高松都市開発の設立に伴い、主に受注高の連結調整額が増加し、前年同期比△64.4%。連結合計は前年同期比+10.4%となった。

(百万円)

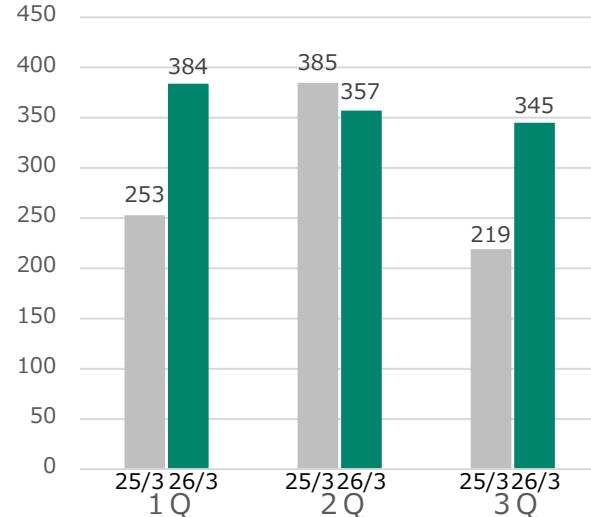
会社別		2025/3 3Q	2026/3 3Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)		227,435	256,701	▲29,266	+12.9%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	104,912	123,740	▲18,828	+17.9%
	土木	61,826	60,332	△1,493	△2.4%
	合計	166,738	184,073	▲17,335	+10.4%
みらい建設工業 (単体)		33,801	46,810	▲13,009	+38.5%
東興ジオテック (単体)		11,313	11,320	▲7	+0.1%
タカマツハウス (単体)		5,982	6,746	▲763	+12.8%
その他 (含連結調整)		18,745	6,676	△12,069	△64.4%
連結合計		464,014	512,326	▲48,311	+10.4%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

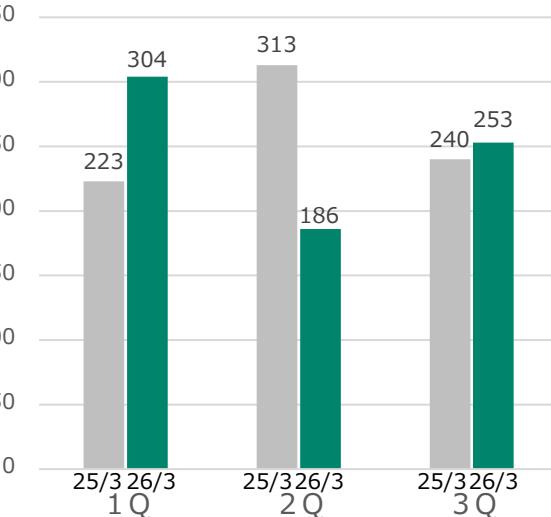
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

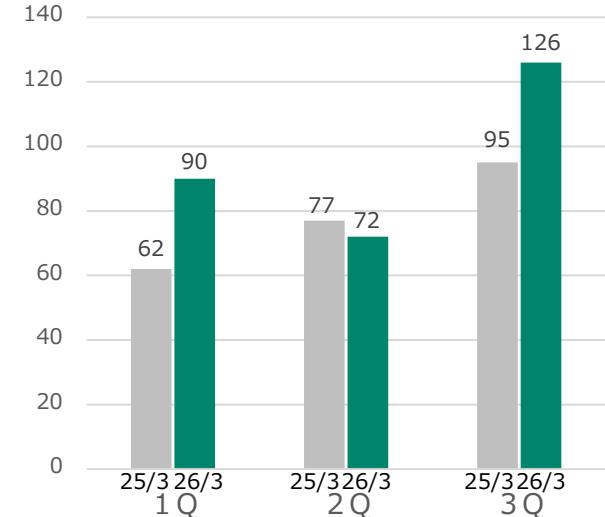
高松建設



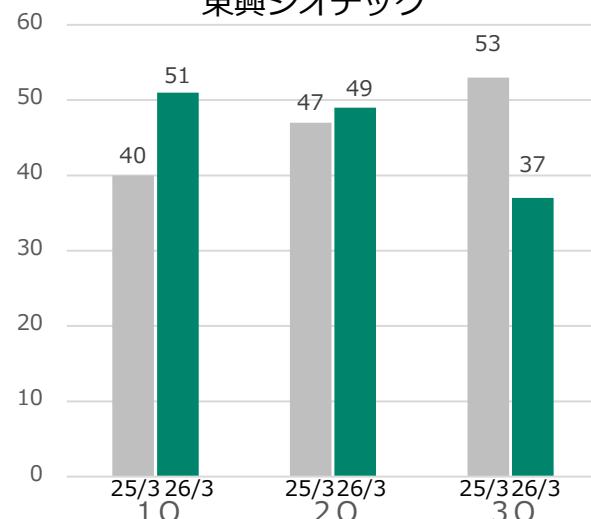
青木あすなろ建設



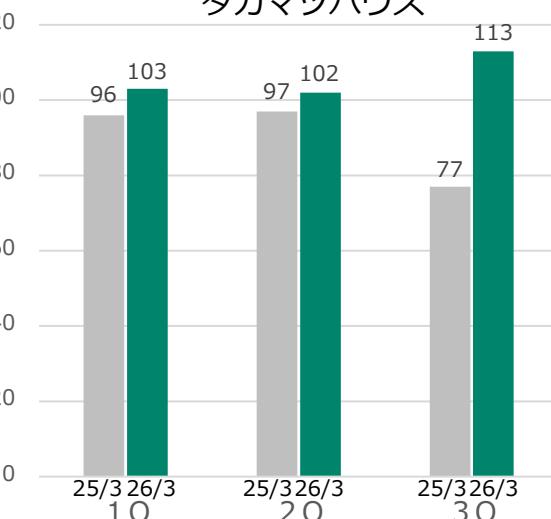
みらい建設工業



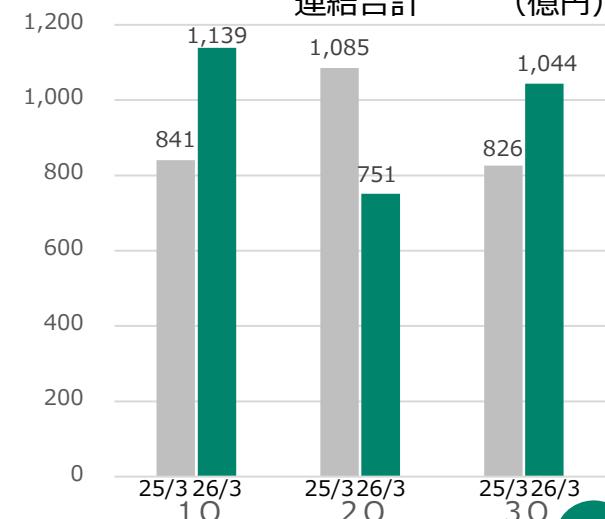
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計

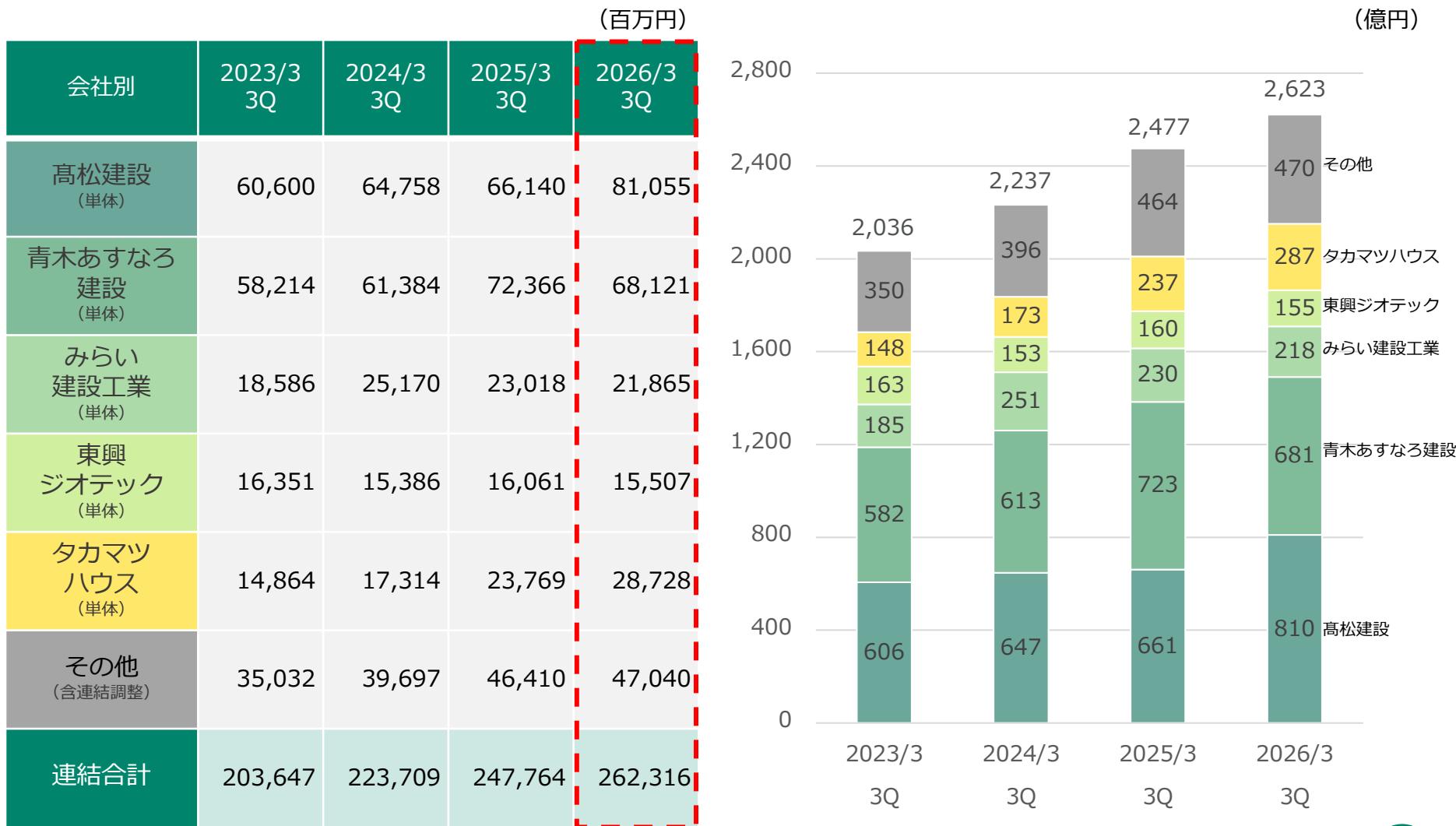


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 売上高

- ◆ 高松建設は繰越工事が順調に進捗し前年同期比+22.5%と大幅増。青木あすなろ建設は前年同期比△5.9%。みらい建設工業は前年同期比△5.0%。東興ジオテックは前年同期比△3.4%。タカマツハウスは販売好調により前年同期比+20.9%。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+1.4%。



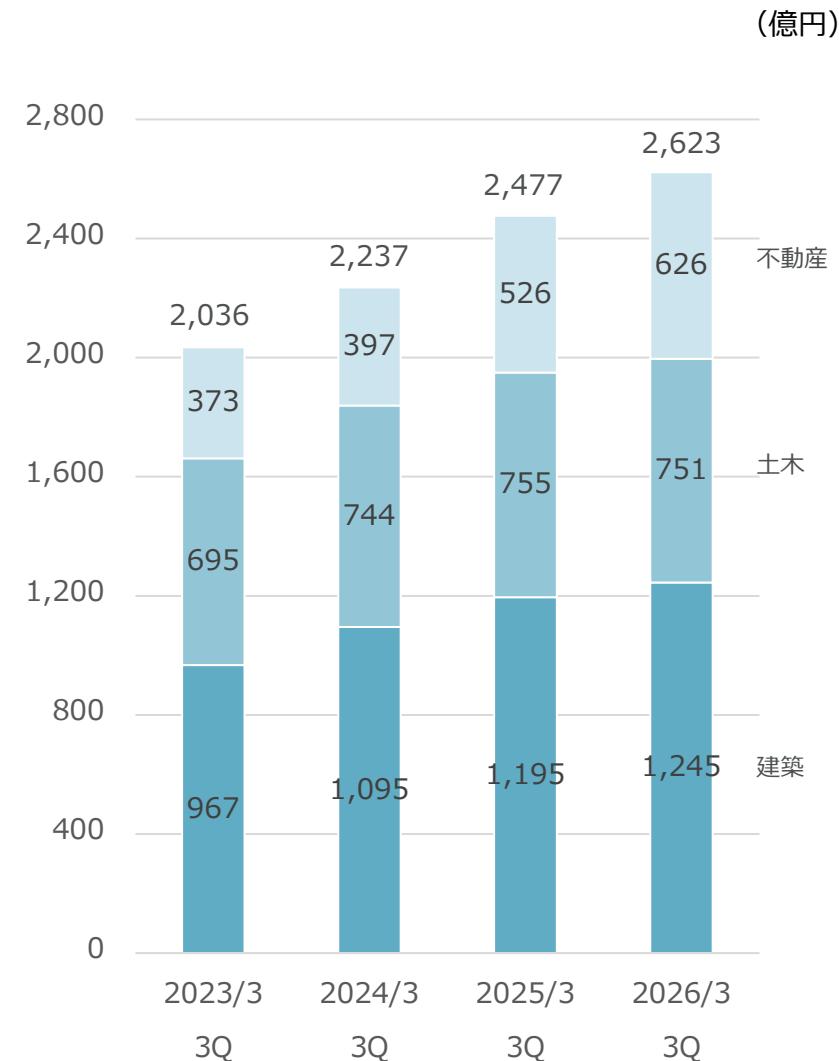
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上高

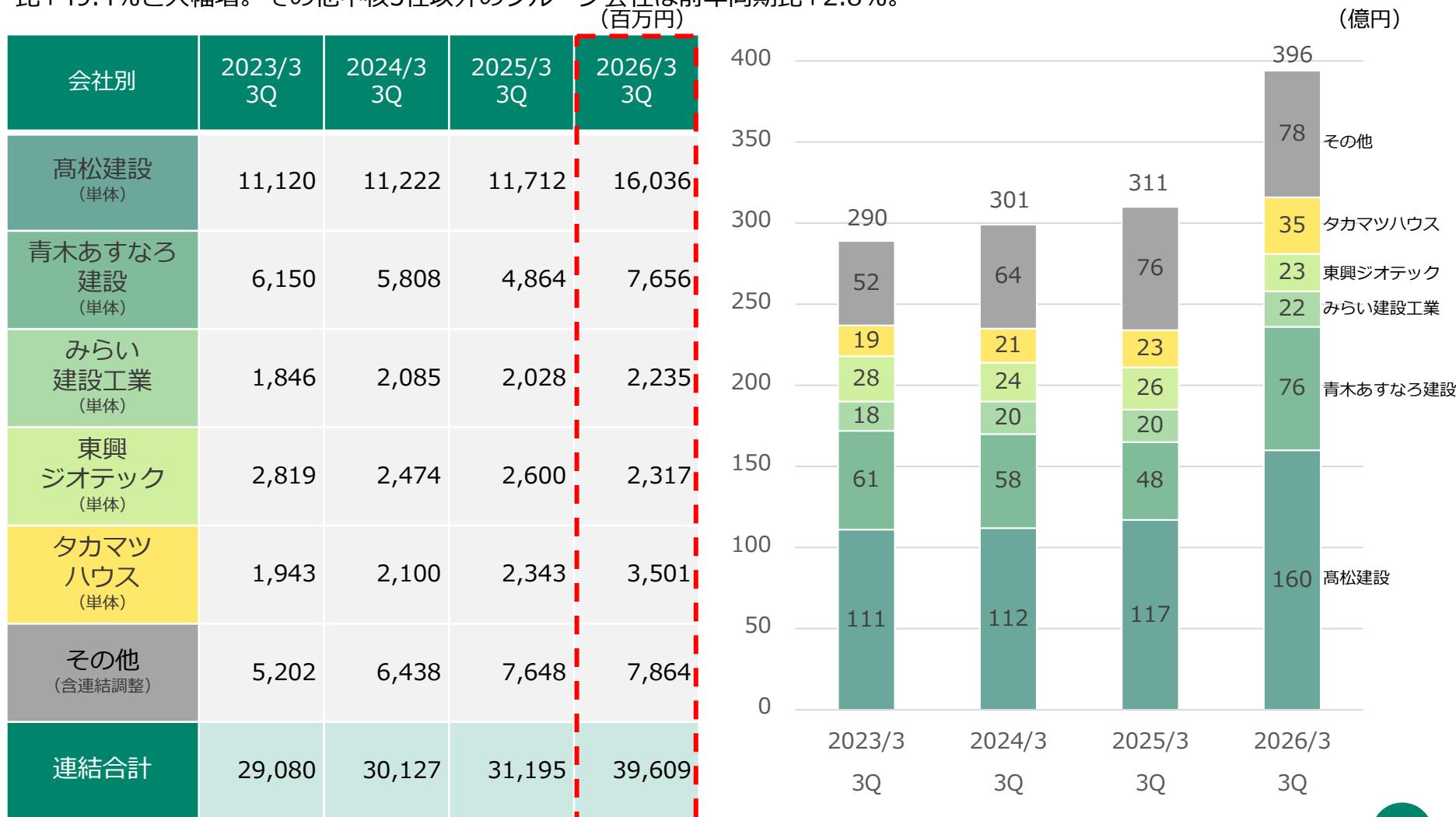
◆ 建築は前年同期比+4.2%。土木は前年同期比△0.6%。不動産は主にタカラマツハウス、高松エステートで増加し前年同期比+18.9%と大幅増。

セグメント別	(百万円)			
	2023/3 3Q	2024/3 3Q	2025/3 3Q	2026/3 3Q
建築	96,767	109,506	119,515	124,556
土木	69,508	74,465	75,599	75,139
不動産	37,371	39,737	52,648	62,620
連結合計	203,647	223,709	247,764	262,316



中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は選別受注と売上高の増加により前年同期比+36.9%と大幅増。青木あすなろ建設は前期不採算のあった第2四半期での反動増による積み上げもあり、売上高は前年同期比減も売上総利益は前年同期比+57.4%と大幅増。みらい建設工業は第2四半期からの積み上げもあり、売上高は前年同期比減も売上総利益額は増加し前年同期比+10.2%。東興ジオテックは売上高の減少と第2四半期で採算悪化した案件が複数あったことから前年同期比△10.9%。タカマツハウスは売上高の増加により前年同期比+49.4%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+2.8%。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

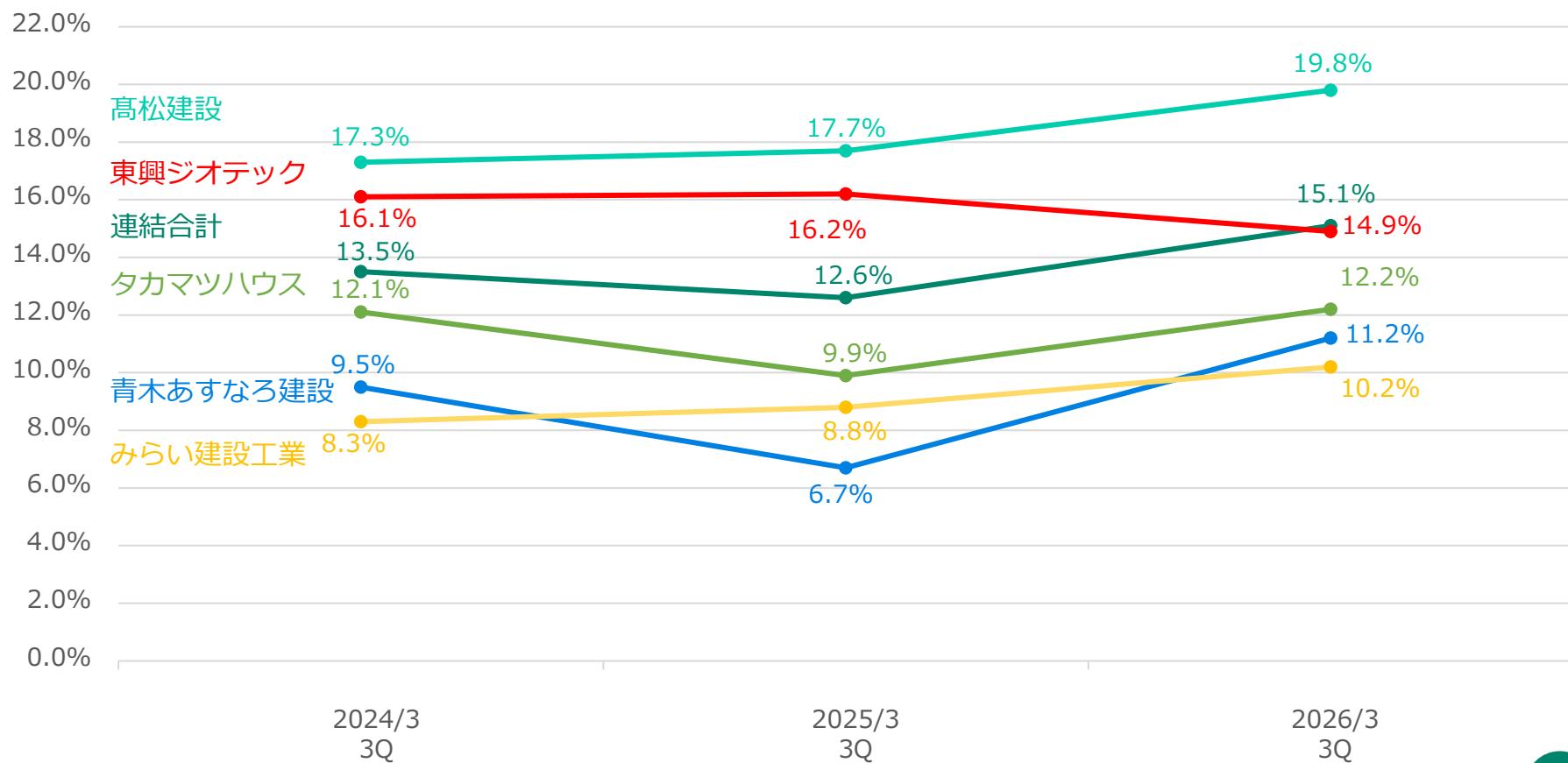
セグメント別 売上総利益

- ◆ 建築は主に高松建設で増加し前年同期比+39.6%と大幅増。土木は主に青木あすなろ建設で増加し前年同期比+17.3%と増加。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比+12.7%と増加。



連結合計と中核5社の売上総利益率

- ◆ 高松建設は売上高および売上総利益額の増加により前年同期比+2.1ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上高は減少したものの売上総利益額が増加し前年同期比+4.5ptと大幅に上昇。
- ◆ みらい建設工業は売上高は減少したものの売上総利益額が増加し前年同期比+1.4pt。
- ◆ 東興ジオテックは売上高および売上総利益額の減少により前年同期比△1.3pt。
- ◆ タカマツハウスは売上高および売上総利益額の増加により前年同期比+2.3ptと大幅に上昇。
- ◆ 連結合計で前年同期比+2.5ptと大幅に上昇した。

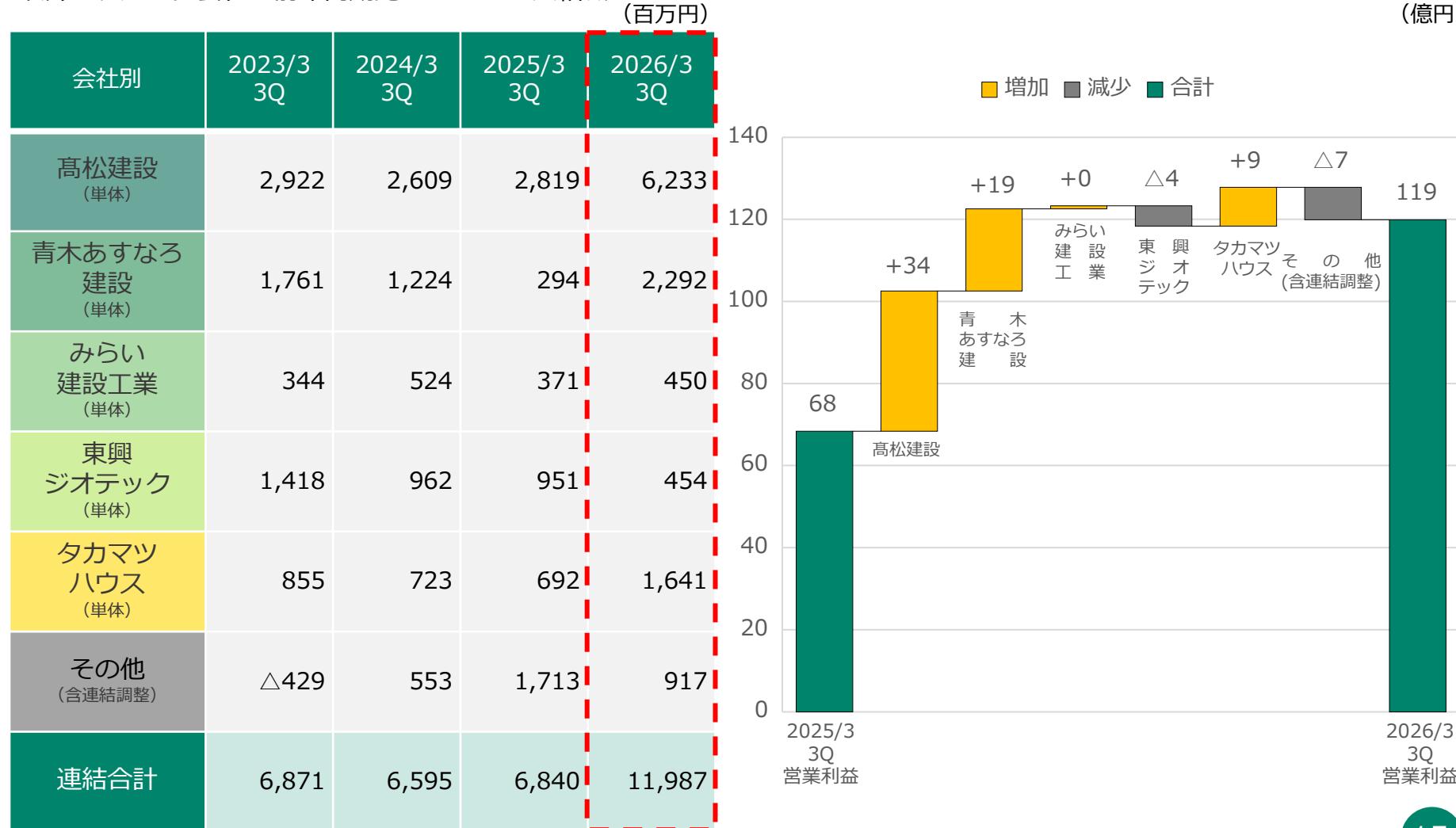


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 営業利益

- ◆ 高松建設は売上高・売上総利益額の増加、売上総利益率の上昇により前年同期比約2倍と大幅増。青木あすなろ建設は前第2四半期での営業赤字からの回復もあり、前年同期比約8倍と大幅増。みらい建設工業は売上高は減少したものの売上総利益額は増加し前年同期比+21.2%。東興ジオテックは売上高・売上総利益額の減少、売上総利益率の低下により前年同期比△52.3%と大幅減。タカマツハウスは在庫調整局面であった前期からの回復と販売好調により前年同期比約2倍と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比△46.5%と大幅減。

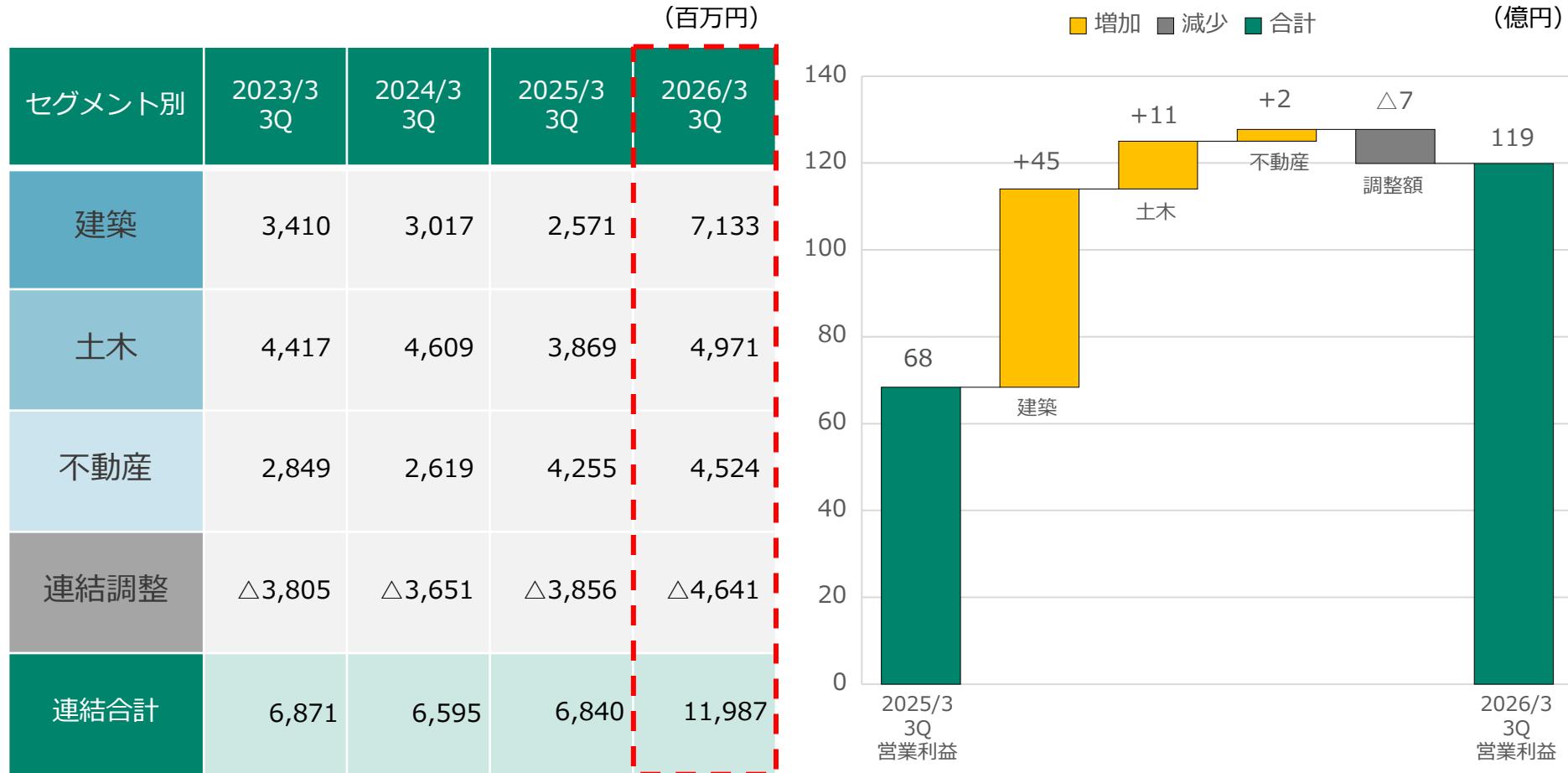


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 営業利益

- ◆ 建築は主に高松建設で大幅に増加し前年同期比約3倍と大幅増。土木は青木あすなろ建設で増加し前年同期比+28.5%と増加。不動産は前年同期比+6.3%。



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

売上総利益・販管費 営業利益増減分析

- ◆ 売上総利益は、東興ジオテックで減少したものの高松建設、青木あすなろ建設、タカマツハウスで大幅に増加し、前年同期比約84億円の大幅増となつた。
- ◆ 販管費は、高松建設、青木あすなろ建設、その他中核5社以外のグループ会社のうち主に当社高松コンストラクショングループで増加し、前年同期比約32億円の増加。
- ◆ 営業利益は連結で約51億円の大幅増。

営業利益増減分析

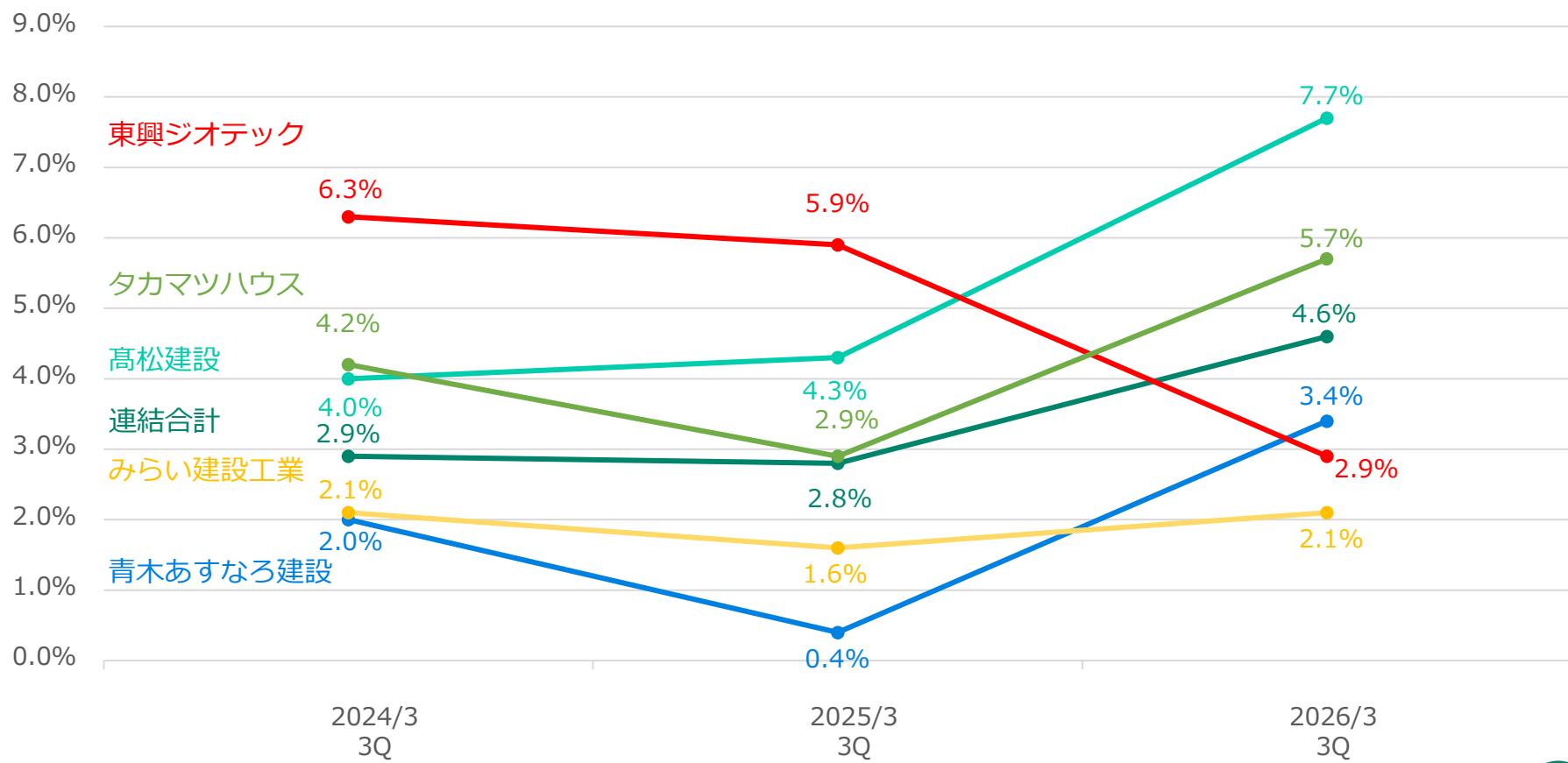


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設は売上総利益率の上昇により前年同期比+3.4ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は前第2四半期での営業赤字からの回復もあり、前年同期比+3.0ptと大幅に上昇。
- ◆ みらい建設工業は前年同期比+0.5pt。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率の低下により、前年同期比△3.0ptと大幅に低下。
- ◆ タカマツハウスは売上総利益率の上昇により前年同期比+2.8ptと大幅に上昇。
- ◆ 連結合計で前年同期比+1.8ptと上昇した。

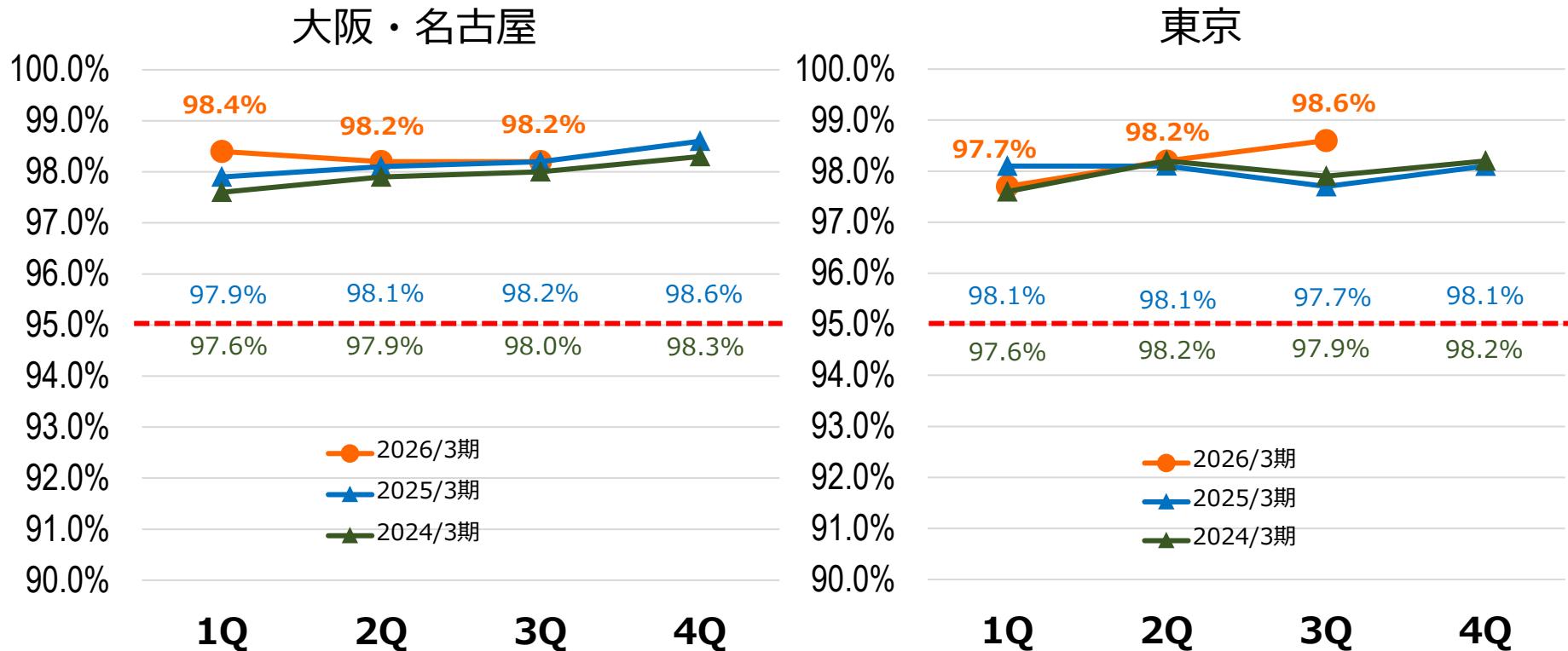


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

高松工ステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は26/3月期第3四半期も95%以上を維持。



定義 :

「大阪・名古屋」 = 大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」 = 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

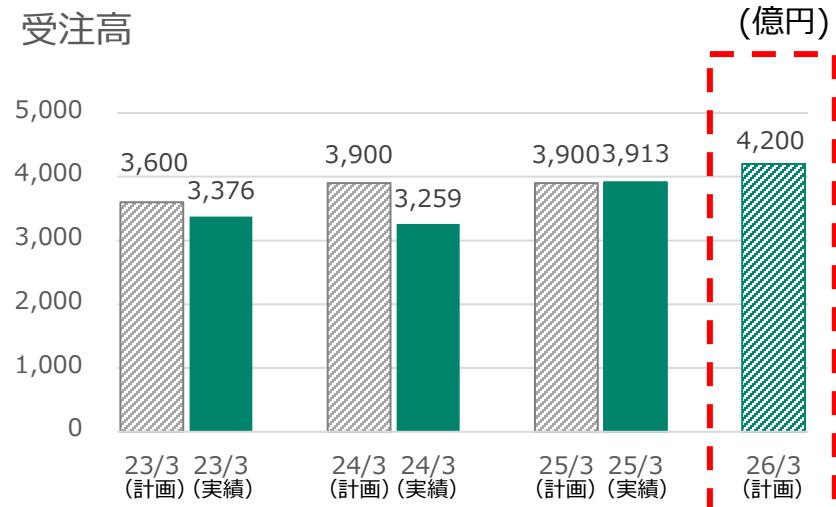
「入居率」 = 各四半期末時点の高松工ステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数

÷ 各四半期末時点の高松工ステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

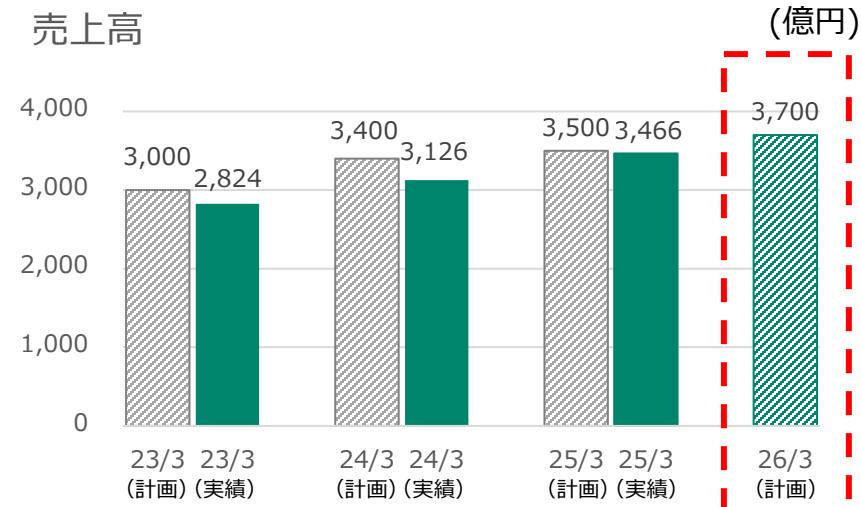
2026年3月期
業績予想・配当予想

2026年3月期 業績予想

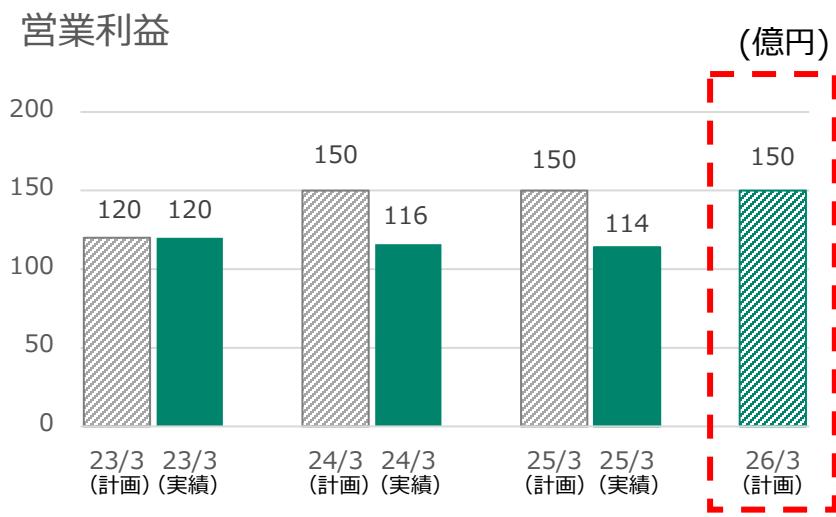
受注高



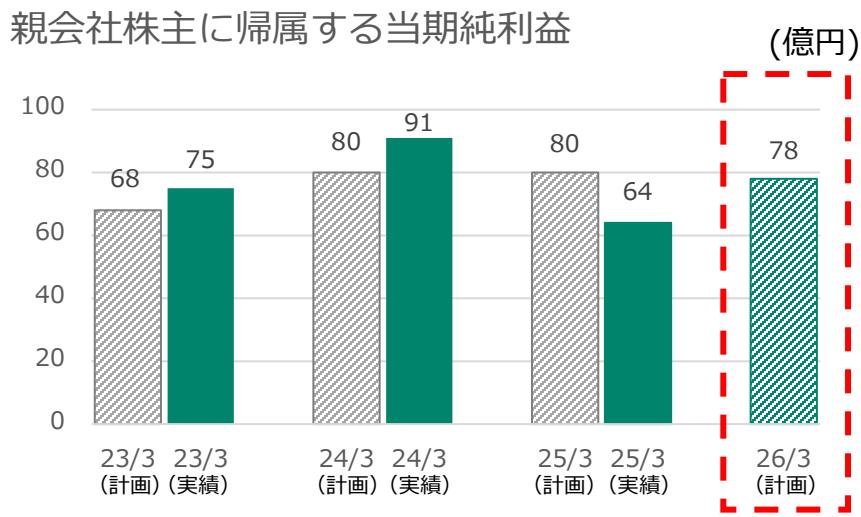
売上高



営業利益



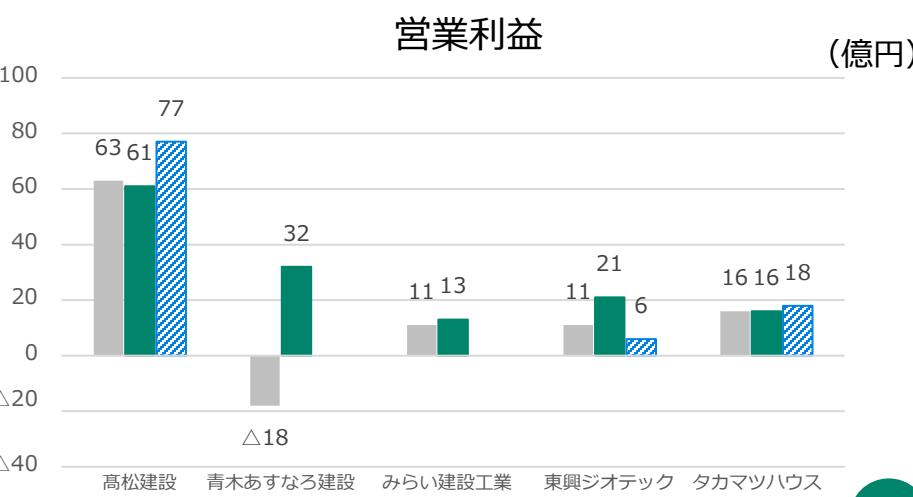
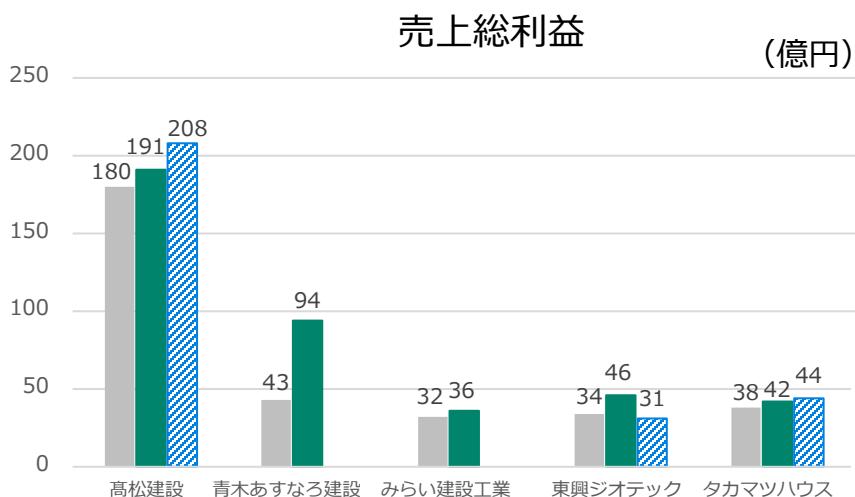
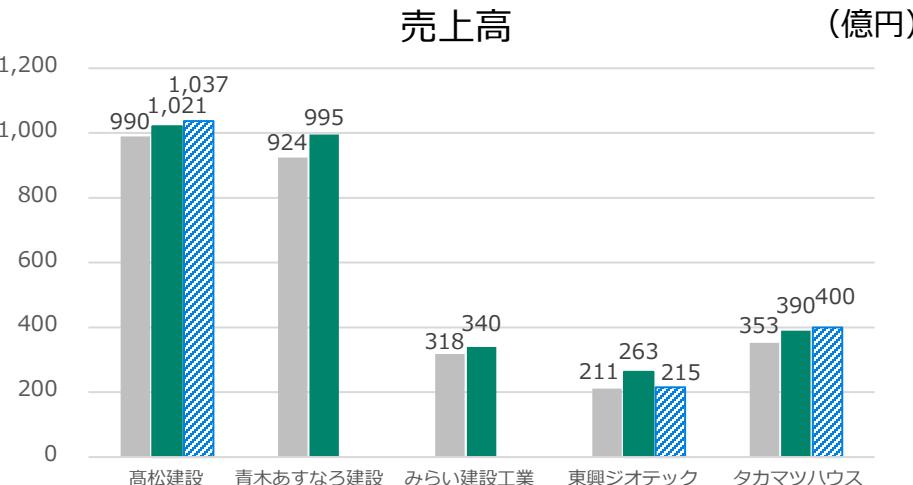
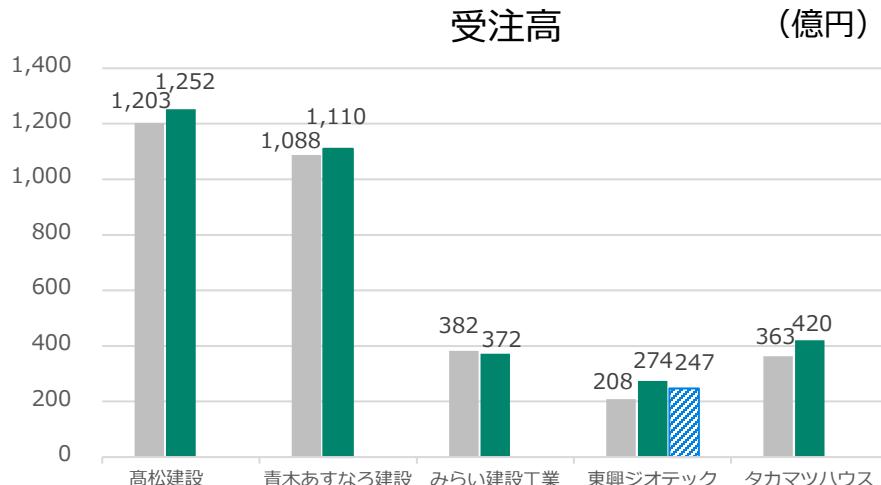
親会社株主に帰属する当期純利益



中核事業会社別2025年3月期実績・2026年3月期経営計画

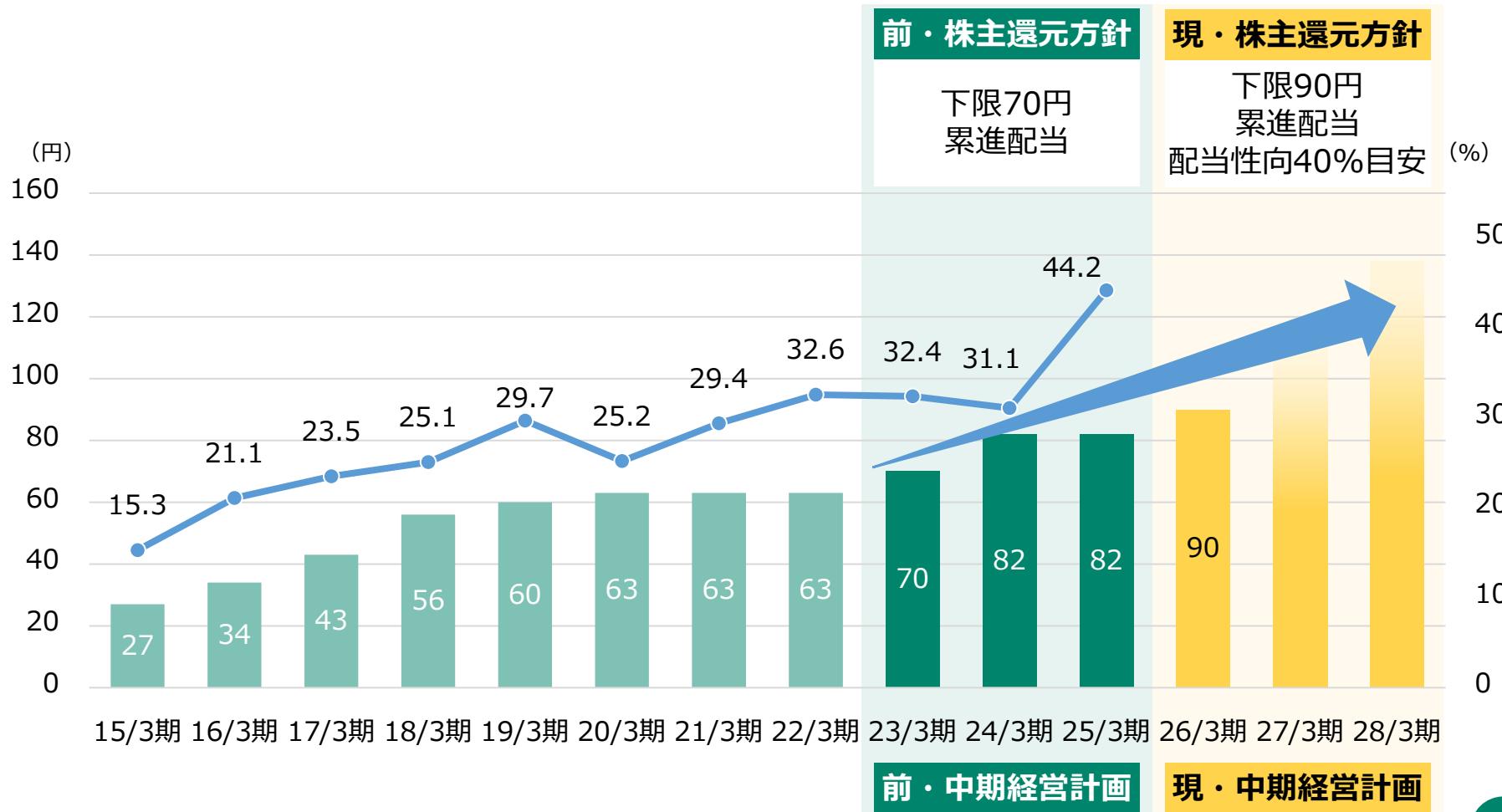
- ◆ 2026年3月期の経営計画に対する事業会社の見通しを一部修正。高松建設は期初計画から売上高+15億円、売上総利益+17億円、営業利益+15億円、東興ジオテックは期初計画から受注高△27億円、売上高△48億円、売上総利益△14億円、営業利益△14億円、タカマツハウスは売上高+10億円、売上総利益+2億円、営業利益+2億円とした。
- ◆ 連結合計の計画数字は期初公表値から変更なし。

■ 2025/3（実績） ■ 2026/3（計画） □ 2026/3（見通し）



2026年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の対象年度においては、累進配当を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の下限を90円に設定。
- ◆ 配当性向40%を目標とし、業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2026年3月期の配当金額は1株当たり90円、配当性向は40.2%を予定。



トピックス

トピックス1

◆東興ジオテック

○世界文化遺産・軍艦島の保全に「電気防食」で参画

歴史的な鉄筋コンクリート建築群を有する長崎県の軍艦島こと端島内の整備事業において、東興ジオテックの「電気防食工法」である「チタンロッド内部挿入陽極工法」が採用され、本事業に関わる施工が完了いたしました。

端島は海底炭鉱の島として開発され、1810年頃に石炭が発見された後に石炭採掘を開始。大正時代以降は高層住宅が建設され、最盛期は約5,300人が居住しました。

今回参画したのは、1958年に建設された鉄筋コンクリート造の小中学校、70号棟における補修試験施工です。過酷な塩害環境に晒される端島において、歴史的意義から外観を極力変化させずに外壁内部の鉄筋腐食を抑制すべく、保有する電気防食工法を用い、高い鉄筋防錆効果と外観変化への配慮が期待できることを長崎市およびJCI委員会に報告をおこない、本事業での採用となりました。今後も、端島の将来にわたる保全に向け、本技術の有効性を継続的な試験調査により検証してまいります。

本件に限らず、東興ジオテックならびに高松グループは、全国的な課題である「インフラ老朽化」の解決に向け、尽力してまいります。



▲70号棟外観



▲70号棟室内側から防食対策を施す



▲施工の様子

※長崎市より特別な許可を得て撮影しております。

トピックス2

◆タカマツハウス



○「GRAND MIRAKURAS（グランミラクラス）」第二弾竣工

不動産市場でのマンション価格高騰を背景に、タカマツハウスが展開する最上位戸建住宅ブランド「グランミラクラス」の第二弾である緑が丘の物件が外構完成前の段階で成約に至りました。プライバシーの確保と開放的な居住空間を両立させた、注文住宅並みの高い意匠性が早期成約の決め手となりました。

本シリーズは、利便性の高い「タワマン立地」に資産価値の高い戸建住宅を提供する戦略をとつており、タワーマンションからの住み替えを検討するお客様からの需要が高まっています。

都市部における新たな住まいの選択肢として、高付加価値な戸建住宅への需要が鮮明になっていることから、今後も積極的に港区や目黒区といった希少性の高いエリアで新規プロジェクトを展開してまいります。



名称	グランミラクラス緑が丘
所在地	東京都目黒区緑が丘1丁目
アクセス	東急大井町線「緑が丘」駅徒歩6分 東急東横線・大井町線「自由が丘」駅徒歩11分
構造・規模	木造2階建て、屋上ルーフバルコニー
土地面積（実測）	121.14m ² (36.64坪)
建物面積	122.20m ² (36.96坪)

つながる力を、創り出す力に。



本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。